

宮崎市「事務事業の外部評価」 事業別判定結果シート

チーム名	第 2 チーム	担当課名	長寿支援課
事業番号	2-4	事務事業名	敬老バス事業(敬老バスカ)

判定結果	見直しが必要
------	--------

【結果内訳】

判定		判定理由	
選択人数	区分	選択人数	項目（複数選択可）
0	不要 (廃止)		① 事業の趣旨・目的に妥当性がない。
			② 目的を達成する手段として、他の手法が考えられる。
			③ 市民ニーズ(需要)や時代変化により、事業が役割を終えている、又は役割が小さくなっている。
			④ 事業の効果がなくなっている、又は薄れてきている。
			⑤ 個人が自助努力・自己負担することが適当である。
			⑥ 民間が実施すべきである(行政の役割終了・民間の方が効率的にできる等)。
			⑦ 国又は県が実施すべきである(国・県で実施する方が効果的・効率的、国・県で同じサービス水準により実施すべき等)。
			⑧ その他
7	見直しが必要	5	① 事業規模(サービスの受給者・水準等)を縮小できる可能性がある。
		3	② 事業の目標や目標期限などの見直しが必要である。
		1	③ 他の事業との統合を検討すべきである。
		7	④ 実施方法の見直しにより経費削減の余地がある。
		2	⑤ 財源確保(負担の見直し、国・県の支援等)について検討すべきである。
			⑥ 外部委託、市民協働・参画などを検討する余地がある。
			⑦ その他
0	現行どおり		① 現在の事業内容・手法で行うことが妥当である。
			② 事業を拡充する必要がある。

【判定人からのコメント】

○「見直しが必要」とした判定人の主なコメント	○その他の判定人の主なコメント
<p>① 公共交通政策を検討する中で、再検討すべきである。</p> <p>② 利用しにくい地域、身体の不自由な人への支援も検討すべきではないか。</p> <p>③ 事業目的があいまいで、拡大しすぎている。対象者の精査が必要である。</p> <p>④ 事業経費の削減のため、所得制限や距離の制限など検討すべきである。</p> <p>⑤ 他市を見ると県内一円の例はない。気軽に外出しようとの趣旨であれば、市外はなじまない。</p> <p>⑥ 高齢者アンケート等により、市民が何を望んでいるかを把握する必要がある。</p> <p>⑦ バス利用の時代であるのは、間違いない。利用度が悪いのであれば、バス路線充実の検討を進めて欲しい。</p>	